

第4章 食育をめぐる課題と計画の展開方法



第4章 食育をめぐる課題と計画の展開方法

1 八王子市食育推進計画の実績と評価

(1) 八王子市内の食育に関する活動の状況

第1期計画では「食を大切に作る人々を育むまち」を将来像として掲げ、「望ましい食生活を送る」「食の基本的な知識、マナー、スキルを身につける」「食を通じて、家族、地域、自然とつながる」の3つの基本目標を基に取組みを推進してきました。

分野別、ライフステージ別の市内の食や食育に関する活動

分野	活動例	ライフステージ				
		乳幼児 0～ 5歳	児童・ 生徒 6～ 15歳	青年 16～ 29歳	成人 30～ 64歳	高齢者 65歳 ～
食生活リズム	○ 望ましい生活リズムの確立	◆	◆			
食生活・ 栄養のバランス	○ 保育現場の食育と郷土料理を学ぶ授業	◆	◆	◆		
	○ サタデースクールでのおやつづくり教室 ○ 夏休みの子どものクッキング教室		◆			
	○ 小学生の食育教育アンケート		◆	◆		
	○ 小学生の保護者対象の食育講座		◆	◆	◆	
	○ 市民まつりへの出展	◆	◆	◆	◆	◆
	○ 道の駅滝山でのメタボリックシンドローム 予防のための啓発イベント ○ 地域の集まり等への家庭料理の配達				◆	◆
	○ 男の料理教室 ○ イキイキシニア料理教室 ○ 配食サービス					◆
自然の恩恵等 への感謝、 環境と調和、食 料事情	○ 農業体験	◆	◆			
	○ 小学生対象の食育体験ツアー ○ 給食への八王子産農産物の取り入れ ○ 給食残菜のたい肥化		◆			
	○ 大人のための食育教室			◆	◆	◆
	○ 八王子産農産物の表示 ○ 八王子産農産物の直売等 ○ 道の駅滝山での八王子産農産物の販売 ○ 市民農園 ○ 援農ボランティア ○ 畑の見学や意見交換等、農家と消費者の交流 ○ 地域の農産物を生かした商品の企画・販売	◆	◆	◆	◆	◆
食を通じたコ ミュニケーシ ョン	○ 配食及び会食サービスを通じた高齢者の 見守り、交流 ○ 食事を通じたコミュニケーションの推奨	◆	◆			◆
食に関する 基本マナー	○ 食事のマナーを身につける体験 ○ 小・中学校における食育	◆	◆			
食文化	○ 八王子の郷土料理の授業・調理実習・試食		◆	◆	◆	◆
食品の安全性	○ 食品の安全性に関する意識啓発等	◆	◆	◆	◆	◆



(2) 計画の評価

第1期計画の基本目標に対応した展開に対して、「八王子食育推進計画進捗状況調査」の結果に基づき、展開に合わせ、評価をとりまとめました。

展開1 : 全てのライフステージに応じた食育を進める

料理教室やイベントなど、ライフステージに応じた多様な食育の取り組みが行われてきました。事業の内容についてもおおむね順調と評価される取り組みが多く挙げられています。一方で、40歳以上の各種医療保険未加入の方を対象とした一般健康診査・一般保健指導の効果・検証が未実施となっているなど、世代ごとの課題には引き続き取り組むことが求められています。

展開2 : 食に関わる様々な場面を食育につなげる

食育の場が子育ての一助となるほか、学校や地域の大学生との連携の場となっています。イベントなどの参加者の満足度も好評価のものが多く、食育が市民の活動の様々な場面につながってきているといえます。

展開3 : 食育に関わる個人や団体を支援し元気づける

市民への様々な食に関する情報提供を行っており、食育の関係者間の交流を図ることができています。はちおうじ食育ネットについては、アクセス数の向上など効果的な取り組みが求められています。



2 これまでの取組みから見る食育推進の課題

意識調査、ヒアリング調査の結果、第1期計画に掲げられた計画の事業に基づく食育や健康をめぐる現状から課題を以下の3点に整理しました。

現 状	課 題
(児童・生徒) ・朝食はほぼ毎日食べているが、中高生になると食べない人が増える ・中高生は食に対する関心が低い ・野菜が嫌いな人が多い ・親は子どもに食事のマナーを教えたいが、子どものマナーへの関心は低い ・料理に対する関心は高いが、料理の手伝いはあまりしていない	・食への関心を向上させる取組みが必要です。 ・野菜嫌いに対する取組みが必要です。 ・食事のマナーや伝統食についての取組みが必要です。 ・体験を通じて食を選ぶ力を高め、バランスのとれた食生活の習慣化につながる取組みが必要です。
(青年) ・食の乱れが気になっている人が多い ・朝食は一人で食べている人が多い ・健康や食の安全など幅広い関心がある	・食への関心を向上させる取組みが必要です。 ・自立した食生活を送るための取組みが必要です。 ・調理方法等食に関する情報提供が必要です。
(成人) ・朝食を食べない人に 30～40代の男性が目立つ ・30～40代の女性は食品の安全性に関心が高い ・学校・保育園での食育を望んでいる ・農業体験への関心が高い	・男性の朝食欠食など食の乱れへの対策が必要です。 ・働き盛りの男性への対策として、職域との連携が必要です。 ・農業にふれる機会を作ることが必要です。
(高齢者) ・60代以上は、地産地消への関心が高い	・健康づくりに関わる食育の取組みの充実が必要です。 ・伝統食の伝承など、食育の担い手となるための取組みが必要です。
・食育の中でも、市民の関心事項は多岐に及んでいる	・地域・団体・行政が連携し、体験型の食に関する取組みが必要です。 ・市民が食育を実践するための支援が必要です。
・農業体験への関心が高い ・市に求めることとして、「地産地消の取組み」が第2位となっている ・地域全体での意思疎通を図る仕組み・体制が十分でない	・体験を通じて食と農業への理解を深める取組みが必要です。 ・関係者間の意思疎通を図り、地域全体で食育に取り組むことが必要です。
・市で行っている食育の取組みの認知度が低い ・八王子の農産物を「買う場所がわからない」という回答が第2位となっている	・世代に応じた手段による情報発信が必要です。 ・市民一人ひとりが食に関する正しい知識・情報を適切に得られる環境の整備が必要です。

【課題1】
 全てのライフステージに応じた食育の取組みが必要です。

【課題2】
 食に関わる様々な場面をとらえた、地域の特性を活かした取組みが必要です。

【課題3】
 食育に関心を持つきっかけづくりが求められています。



3 計画の展開方法

食育推進の課題を踏まえ、「将来像」「基本目標」の実現に向け、以下の3つの展開方法により、市民、市民活動団体、民間事業者等及び八王子市が、協働して食育活動を展開していきます。

計画の 展開方法1

全てのライフステージに応じた食育を進める

多様化する市民の生活状況や、年代によって食育に関する課題は異なります。そのため、市民がそれぞれの年代の特性に応じた正しい食生活習慣を身につけ実践するための食育の取組みを推進します。

計画の 展開方法2

食育に関わる様々な場面をとらえた、地域の特性を活かした取組みを進める

地域の特色ある食育活動を進めるためには、農産物の栽培・収穫、調理、食品の購入、生ゴミの処理等、食育に関わる様々な場面での体験を通して、食の安全・安心、地域の伝統的な食文化、食の循環等への理解を深めることが課題となっています。

そのため、食育への関心を高めるきっかけづくりとして、親子の食に関する共通体験や農業体験による生産者と市民同士の交流の場を設けるといった取組みを推進します。また、関係者間で密に情報交換・共有を行い、地域全体で食育に関わる様々な場面を支援していきます。

計画の 展開方法3

食育に関わる個人や団体を支援し元気づける

市民一人ひとりが食育に関する正しい知識・情報を適切に得られるきっかけづくり、環境の整備が課題となっています。

そのため、様々な食へのアプローチを取り込み、地域全体での食育推進につながるよう、食育に関わる個人や団体を支援します。情報発信、人材育成、活動のネットワーク強化を図り、生産者、消費者、行政、事業者・団体など、食育に関わる主体の協働・連携によって個々の取組みをつなぎ、市全体で食育を推進します。



4 重点項目の設定

計画の改定にあたって、第1期計画の基本目標等を引き継ぎつつ、意識調査の結果や課題の整理に基づき、重点的に取り組む内容を位置づけます。第1期計画で掲げられた「食育活動の内容（※第5章参照）」から、重点項目を設定し、積極的に施策を推進していきます。

計 画 の
展開方法 1

全てのライフステージに応じた食育を進める

子どもの野菜嫌いや中年男性の食の乱れなどに見られる、望ましい食生活から離れることが課題となっているため、以下の3つの世代（項目）を重点項目に位置づけます。

重点1 児童・生徒の食育の推進

体験を通じて関心・選ぶ力を高め、バランスのとれた食生活の習慣化につながる取組みを推進します。

重点2 青年の食育の推進

食習慣の乱れが生じないよう、食の大切さの普及、自立して健全な食生活を送るための取組みを推進します。

重点3 成人の食育の推進

食生活の乱れの改善に向けた取組みを重点的に推進します。

計 画 の
展開方法 2

食育に関わる様々な場面をとらえた、地域の特性を活かした取組みを進める

食に関わる様々な場面や体験を通して、食の安全・安心、地域の伝統的な食文化、食の循環等への理解を深めることが課題となっているため、以下の項目を重点項目に位置づけます。

重点4 地元の農産物を活用した交流・体験

食育への関心を高めるきっかけづくりや、親子での食育に関する共通体験を増やすなど、市民が農業を体験し、生産者や市民同士が交流する取組みを重点的に推進します。

計 画 の
展開方法 3

食育に関わる個人や団体を支援し元気づける

市民一人ひとりが食に関する正しい知識・情報を適切に得られるきっかけづくり、環境の整備が課題となっているため、以下の項目を重点項目に位置づけます。

重点5 食育ネットワークの強化

食育に関わる様々な主体が連携することを目的とした「八王子市食育ネットワーク」を立ち上げます。各団体の情報交換・情報共有を通して、互いに連携し活動の強化に取り組めます。

